

Weekly Michael's News

2018年12月3日発行 No.90

＜今週の聖句＞

『六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」』

(ルカによる福音書 1:26)

＜長年にわたる尊いご奉仕に対する感謝を含めて…。 前田次郎理事長の退任式を挙行!!＞

先週の土曜日、12月1日は、八代学院にとって特別な一日となりました。長年理事長を務めて来られた前田次郎先生が退任され、新理事長にこれまで学院長であった八代智先生が就任されました!! 前田先生は、これまでの支えに対する感謝とこれからの指針、特に建学の精神を土台として学生・教職員が互いを思い合う、そんな願いをメッセージに込められました!!



茶話会には多くの職員が参加



笑顔が絶えない和やかなムードで



八代新理事長からは覚悟の言葉が



「暖かく優しい言葉を掛け合おう」



藤本秘書から真紅のバラと花が



チャペル十字架をバックに記念撮影

＜KIU クリスマスは主教来校に表彰に祝賀会と盛り沢山!! 今週水曜日を Don't Miss it!!＞

例年より暖かい冬となり「もうクリスマス?」という感じもしますが、キリスト教会の暦では、ついにアドベント（降臨節）に入りクリスマスの準備が本格的に始まりました!! KIUでは一足先に12月5日（水）17:00～ チャペルでクリスマス礼拝を行います!! 神戸教区主教 小林尚明師父をお迎えし、学生表彰に、祝賀会（ケーキバイキングあり!!）と楽しい内容が盛り沢山となっています!! ぜひ声を掛け合い皆様にチャペルまでお越し下さい!! 一人でも多くのご参加をお待ちしています!! 本物のクリスマスを体験するチャンス!!



<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

11月26日(月) テーマ:「その苦しみの傍らに」

野間 光顕(チャプレン)

先週金曜日リハ学部3年生の濱田君が礼拝奨励をしてくれた。話の準備を共に行う中でその日の聖書箇所「神は乗り越えられない試練を与える事はない」(コリントⅠ10:13)を強く想起した。約30年前、高校でラグビーを始めた私は、練習の苦しさ逃げ出しそうになったが母からの手紙に上の聖句が記してあった。私は、練習の度にその手紙を見直して勇気づけられ厳しかった合宿もやり遂げる事ができた。あの時、母からの手紙、この聖書の言葉との出会いがなければ、今の自分は存在していないだろう。この言葉は、同じように苦しみを抱えていたイエスの弟子によって記され、約2000年間数え切れない程の人々に勇気と希望を与え続けてきた。私たちの間にも様々な問題が山積しているが、胸に留めた希望の言葉を力に歩みたい。

11月27日(火) ※この日は音楽礼拝!! 聖歌隊の合唱「グリーンスリーブス」に耳と心を傾けました。次回は、12月11日(火)です!!

11月28日(水) テーマ:「アマとプロ」

東 弘彦(学院事務局長)

私はアマチュアのオーケストラに入っていて、年に一回定期演奏会を行っている。その活動を続けながら「アマチュア」と「プロフェッショナル」の違いを考えさせられた。例えばアマチュアは年に1~2回の定期演奏の為に何度も練習を重ねる。反対にプロは、年に何度も演奏会をこなし、その為の練習は数回と言われる。学校に置き換えれば、アマチュアは学生でプロは教師となるだろうか? 確かに教師は教える事で給料をもらい、学生は授業料を支払って教えてもらう。しかし大学生にもなれば学生としての経験も長くなり、ノートの取り方や先生との関係の作り方などその技も蓄積されており、学生としてのプロと呼べるのではないか? そのノウハウを生かし、プロの教師と学生とで有意義な学び合いを展開して欲しい。

11月29日(木) テーマ:「一人ひとりのバースディプレゼント」 寛 裕樹(リハビリテーション学部4年)

人それぞれ誕生日の楽しい思い出があると思う。しかし私は今年の誕生日12月13日にとっても大きなプレゼント「理学療法士の国家試験願書」を受け取る事になってしまった。最初は驚いたが、リハ学部4年間の総括である国家試験で「最後までやりきる」決意が求められている...そう思った時に誕生日の意味が自分の中で大きく変化した。誕生日は祝ってもらうだけでなく、自分を産み育ててくれた両親への感謝と、これからの自分の決意を改めて確認する機会でもある。聖書の伝えるクリスマスの物語、飼葉桶に生まれるイエスには、すでにその使命が示されているし、私たちもまたこの世に生きながら何かしらの役割を担っていると思う。自分の歩みや人生の意味を誕生日の度に思い返す事で経験や成長へと繋がり、より成熟した人生を歩む事ができるのではないだろうか。



11月30日(金) テーマ:「Dreams come true」

白砂 伸夫(経済学部)

今回、長野県伊那市にある商店街で、町興しにバラを植えるサポートをした事から世界バラ連合より優秀著作賞を戴いた。その商店街は、俗に言うシャッター商店街で寂れていたが、バラを植える事で、通りの華やかさに加えて、店の雰囲気や人の交わりまでもが活性化された。この取り組みを通して改めて思うのが「夢を持つこと」の大切さだ。学生の皆さんは、自分の夢や未来をどう描いているか? 夢を思い描けば、目の現実を理解でき、歩く道筋が見えてきて、一歩前に進める。どんな小さな夢でもいいので、それを思い描く事、その夢を諦めずに追いつける事が、夢の実現への確かな道筋となるのではないだろうか。(文責:野間 光顕)